

0231				大正 年九月九日	主務局課長	大臣	件名	受領番號	保存期限
房官臣大	課局務主	次官	政務次官	參與官	參事官	筆記者	參務次官	回付決裁前	
了結	領受	主務	高級副官	主務副官	主務課員	審案	與官回付	連帶	
大正	大正	局長	主務	官房主計	主務技師		後	課名	
年十月六日	(裁決)行決後 覽	長局	課長				回覽	決行(決裁)後 課名	
		長課							

陸軍副官ヨリ教育監視部長兼教諭長、技術本
部長兼機械本廠長、造兵廠長官 各席同
參謀長、各軍事委員長、航空本部長、軍
事司令官、支那駐屯軍司令官、通譯
首題、特別顧問、通譯官之時任命通譯ス
宣テ大正二年七月陸軍監修官ニセガ郵ハ自
然消滅、儀ト承知セラ度

陸軍副官
九一八
九月九日

公事用
印

印

被鋼實包使用要領

- 一、被鋼實包ハ鋼被甲ノ彈丸ニシテ小銃機關銃ノ銃腔面ニ附著セル被甲除去ノ為之ヲ使用スルモノトス
- 二、被甲除去ノ際ハ本實包ヲ機關銃、輕機關銃ニアリテハ一回約三十發小銃ニアリテハ一回約十發連續發射スルモノトス
- 多數彈射擊直後ニ使用セハ銃身加熱ノ狀態ニ在ルヲ以テ一層確實ニ被甲ヲ除去シ得ヘシ
- 三、實包ニ比シ彈量約口瓦三輕キヲ以テ實包ト混用シテ命中精度、正確ヲ期待シ能ハサルモノトス
實包ト區別スル為被甲表面ニ被鋼ス

~~被鋼實包使用要領~~

被鋼實包ハ鋼被甲、弾丸ニシテ小銃機関銃、銃腔面ニ附着セル被甲除去ノ為ミヲ使用スルモノトス

二、被甲除去ノ際ハ本實包ヲ一回約三十發連續發射スルモノトス

多數彈射擊直後ニ使用セバ銃身加熱、狀態ニ在ルヲ以テ一層確實ニ被甲ヲ除去シ得ヘシ

三、實包ニ比シ彈量約瓦三整キヲ以テ實包ト混用シテ命中精度、正確ヲ期待シ能ハサルモノトス
實包ト區別スル爲被甲表面ニ被鋼ス

被鋼實包使用要領

- 一、被鋼實包ハ鋼被甲ノ彈丸ニシテ小銃機関銃ノ銃腔面ニ附著セル被甲除去ノ為之ヲ使用スルモノトス
- 二、被甲除去ノ際ハ本實包ヲ機関銃、輕機関銃ニアリテハ一回約三十發小銃ニアリテハ一回約十發連續發射スルモノトス
- 三、多數彈射擊直後ニ使用セハ銃身加熱ノ狀態ニ在ルヲ以テ一層確實ニ被甲ヲ除去シ得ヘシ
實包ニ比シ彈量約口瓦三輕キヲ以テ實包ト混用シテ命中精度、正確ヲ期待シ能ハサルモノトス
實包ト區別スル為被甲表面ニ被鋼ス

被鋼實包使用要領

一、被鋼實包ハ鋼被甲ノ彈丸ニシテ小銃機関銃ノ銃腔面ニ附着セル被甲除去ノ為之ヲ使用スルモノトス

二、被甲除去ノ際ハ本實包ヲ機関銃、輕機関銃ニアリテハ一回約三十發小銃ニアリテハ一回約十發連續發射スルモノトス

多數彈射擊直後ニ使用セハ銃身加熱ノ狀態ニ在ルヲ以テ一層確實ニ被甲ヲ除去シ得ヘシ
三、實包ニ比シ彈量約口瓦三輕キヲ以テ實包ト混用シテ命中精度、正確ヲ期待シ能ハサルモノトス
實包ト區別スル為被甲表面ニ被鋼ス

被鋼實包使用要領

一、被鋼實包ハ鋼被甲ノ彈丸ニシテ小銃機関銃ノ銃腔面ニ附著セル被甲除去ノ為之ヲ使用スルモノトス

二、被甲除去ノ際ハ本實包ヲ機関銃、輕機関銃ニアリテハ一回約三十發小銃ニアリテハ一回約十發連續發射スルモノトス

多數彈射擊直後ニ使用セハ銃身加熱ノ狀態ニ在ルヲ以テ一層確實ニ被甲ヲ除去シ得ヘシ

三、實包ニ比シ彈量約ロ瓦三輕キヲ以テ實包ト混用シテ命中精度、正確ヲ期待シ能ハサルモノトス
實包ト區別スル為被甲表面ニ被銅ス

被鋼寶包使用要領

一、被鋼寶包ハ鋼被甲ノ彈丸ニシテ小銃機関銃ノ銃腔面ニ附着セル被甲除去ノ為之ヲ使用スルモノトス

二、被甲除去ノ際ハ本寶包ヲ機関銃、輕機関銃ニアリテハ一回約三十發小銃ニアリテハ一回約十發連續發射スルモノトス

多數彈射擊直後ニ使用セハ銃身加熱ノ状態ニ在ルヲ以テ一層確實ニ被甲ヲ除去シ得ヘシ
三、寶包ニ比シ彈量約口瓦三輕キヲ以テ寶包ト混用シテ命中精度、正確ヲ期待シ能ハサルモノトス
寶包ト區別スル為被甲表面ニ被鋼ス